



「連携だより」



めくもいとおもいやりの医療・介護を

ご挨拶

副院長 山下 竜也



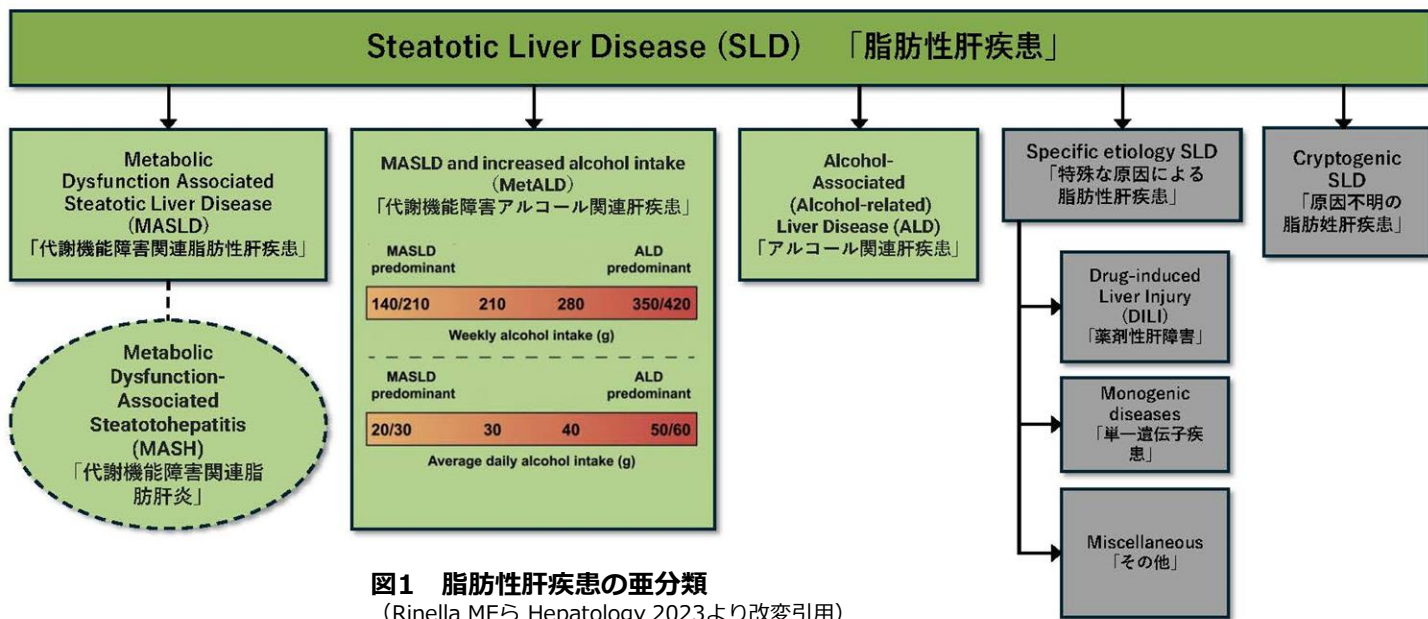
2024年4月より金沢大学から異動し、副院長に就任しました消化器内科の山下竜也です。これまで、1999年10月から2024年3月までの約25年間、金沢大学にて消化器内科、特に肝胆膵領域、肝疾患、肝腫瘍を専門に臨床および研究に携わってまいりました。臨床面では、C型肝炎に対する二重濾過血漿交換療法の保険適用化、肝細胞癌に対するラジオ波焼灼療法の導入と確立、肝癌診療ガイドラインの薬物療法の章の担当などに取り組みました。また、スイス・ジュネーブのWHO本部でのB型肝炎ガイドライン作成、金沢大学WHOコラボレーションセンター指定への貢献、特別枠学生担当の特任教授、肝胆膵薬物療法開発における治験責任医師など、多岐にわたる活動を行いました。これらの経験を活かし、公立松任石川中央病院を中心に、地域医療へのさらなる貢献を目指してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

公立松任石川中央病院への赴任は今回が2回目となります。最初の赴任は約30年前、阪神・淡路大震災の頃であり、1年間、研修医として勤務しました。その当時、心臓カテーテル検査、消化器検査、透析など、さまざまな経験を積ませていただいたことが懐かしく思い出されます。当時の病院は現在よりも規模が小さく、当直中の血液検査は行えず、自身でガス分析を行い、レントゲンやCTの撮影も容易ではありませんでした。そのため、当直中に消化器の外来を開けていただき、レントゲンの代わりに超音波検査を用いた、現在でいうPoint-of-Care Ultrasound (POCUS) を実施していました。現在の病院の規模や機能の大幅な拡充には、驚きとともに大きな期待を感じています。

消化器内科では、2024年11月より最新の超音波診断装置を導入し、Share Wave Elastographyを用いた肝硬度測定や、Attenuation Imagingを用いた肝脂肪の定量測定（2024年保険収載）が容易にできるようになりました。また、CTやMRIの画像をAIによって超音波断面像に変換し参照するFusion US、次世代Contrast Harmonic Imagingによる造影エコーも導入しています。さらに、9月からはPhoton-counting CTを活用し、より精密な超音波診療が可能となりました。小肝腫瘍に対するラジオ波焼灼療法も積極的に開始しています。

慢性肝疾患に関しては、B型・C型肝炎ウイルスの時代から、非ウイルス性の脂肪性肝疾患の時代へと移行しています。これまでNASHやNAFLDと呼ばれてきた疾患は、現在ではMAFLDやMASHと名称が変更され、2024年には正式な日本語名が決定されました。脂肪性肝疾患（Steatotic Liver Disease, SLD）として整理される中で、代謝機能障害関連脂肪性肝疾患（MASLD）やアルコール性肝疾患（ALD）、アルコール関連が否定できない代謝機能障害アルコール関連肝疾患（MetALD）などの分類が提唱されています（図1）。





さらに、「奈良宣言2023」においてALT 30 U/mL超が肝障害の目安として示されました。以前は肝炎ウイルス検査を受けることが診断の第一歩でしたが、今後はALT 30 U/mL超が診断フローの出発点となり、かかりつけ医から消化器内科へのコンサルテーションまでの流れが提案されています（図2）。このフローに含まれない肝障害であっても、気になる点がございましたらぜひご紹介ください。責任を持って診療にあたらせていただきます。

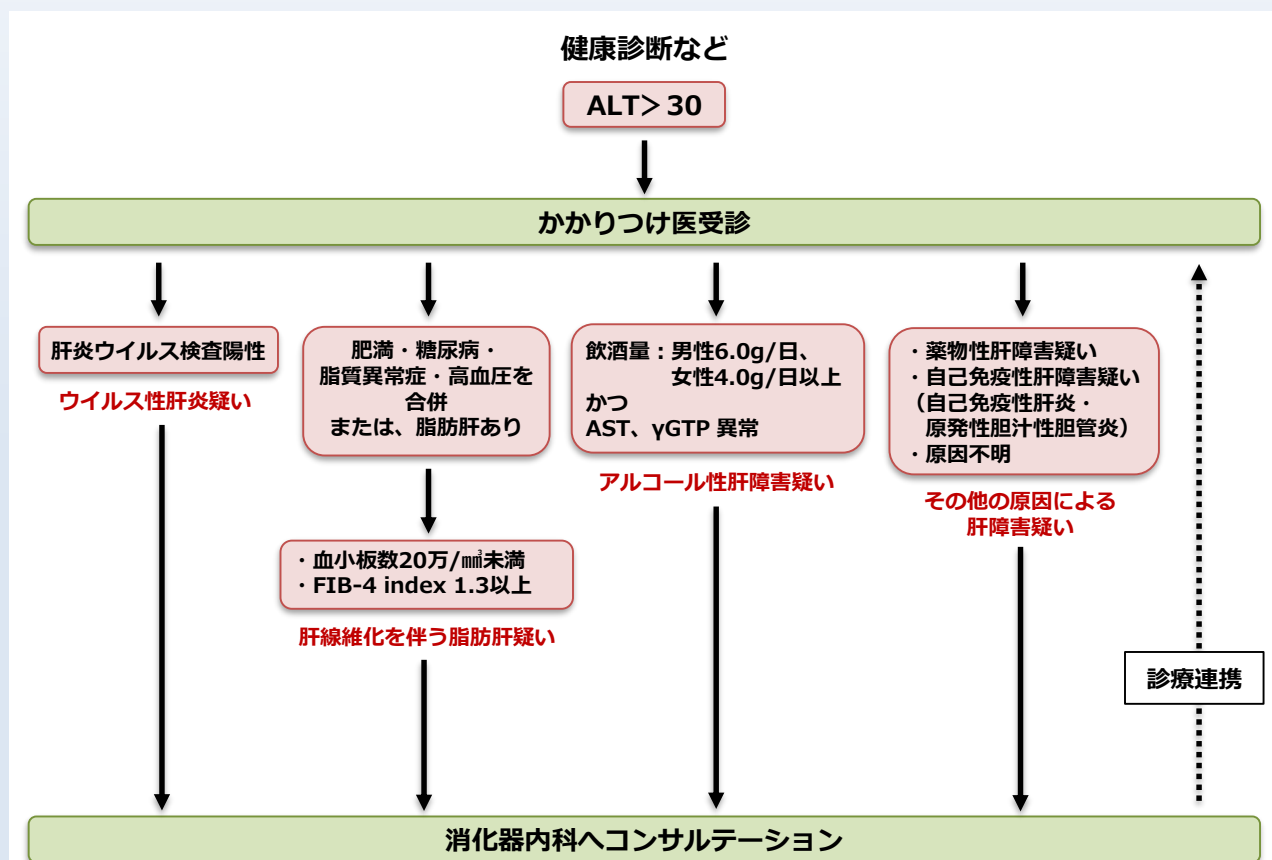


図2 肝機能異常 消化器内科へのコンサルテーションのフロー
(一般社団法人日本肝臓学会 奈良宣言特設サイトより引用)

今後も肝疾患に限らず、消化器疾患全般および内科疾患全般において、消化器内科・内科・外科の医師をはじめスタッフと協力し、さらに金沢大学医学部附属病院とも連携を図りながら、地域の先生方に安心してご紹介いただける診療を行ってまいります。引き続き、ご支援とご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

第七次増改築工事が始まりました

公立松任石川中央病院は、平成元年に現在地に移転新築し、築後35年が経過しています。これまで6次にわたる増改築工事を行ってきましたが、施設の老朽化に加え、多様化する医療ニーズに対応するため新たな病院施設を整備する第七次増改築工事に取り組んでいます。

第七次増改築工事は、新病院を建設する1期工事と、そのあとに既存施設を改修する2期工事に分かれ、1期工事は令和9年1月末の完了を予定しています。工事期間中は病院北側（白山市役所側）道路が通行止めとなりますので、ご来院の際はお気を付けください。



オープン登録医のご紹介

津山クリニック

外科、肛門外科、消化器内科、内科

院長名：津山 博

白山市北安田1270番地

Tel(076)276-5501

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 8:30 ~	○	※	○	○	※	○
12:30 まで						
午後 2:30 ~	○	○	○	—	○	—
6:00 まで						

休診日：日曜祝日、木曜・土曜午後休診
火・金曜午前 手術日となっています



当院は、白山市北安田町にある無床診療所です。

消化器疾患に関しては、腹部超音波検査、上部・下部内視鏡検査などを行っております。また肛門疾患に対して注力しており、痔核に対する日帰り手術も行っております。白山市を中心に近隣の方々の市民健診、胃がん検診、予防接種なども行っており、かかりつけの患者さん一人ひとりに寄り添った丁寧な診療を心がけています。

開院18年が経過し、医院の近隣には田畑が減り宅地が増え、JR西松任駅・商業施設なども建設されました。ランドセル姿のお子さんが増え喜ばしい反面、通院していただいている患者さんも高齢化が進み、往診にお伺いすることも多くなりました。

地域の中核病院である公立松任石川中央病院には、当院の患者さんも多くの診療科にお世話になっております。迅速かつ適切な診断・治療を行っていただき、院長先生をはじめ、沢山の先生方、職員の方々のご尽力にいつも感謝しております。またCTやMRIをはじめとする画像診断の外部利用についても、大変お世話になっております。今後ともご指導ご鞭撻いただければ幸いです。

